

# 協会だより

## 第42号

発行日：2017年11月15日  
発行人：会長 大熊 幸雄  
連絡先  
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町 11-1 3階 9F  
さいたま市市民活動サポートセンター  
電話：050-3610-1948  
e-mail：[sai-eca@soleil.ocn.ne.jp](mailto:sai-eca@soleil.ocn.ne.jp)  
ホームページ：<http://www.saieca.com/>

本号のラインアップ

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 会長挨拶                        | 1 |
| 第34回環境保全講習会の開催結果            | 2 |
| 環境研修会の開催結果の概要               | 3 |
| 平成29年度埼玉環境カウンセラー協会通常総会の開催概要 | 4 |
| 来賓あいさつ；埼玉県環境部環境政策課長 矢島謙司 様  | 5 |
| 会員の投稿「県民実験教室」活動報告           | 6 |
| くまがやエコライフフェア2017に参加         | 7 |
| 情報交差点、編集後記                  | 8 |

### ◇ 会長あいさつ

大熊 幸雄

第34回環境保全講習会（詳細は次ページ）は、台風24号が近づく中、皆さんの御協力のお陰で無事に終了しました。フロアとも活発な意見交換が出来て、大変、良かったと感じております。

さて、私は9月3日から20日まで、フレンドシップ・フォース・埼玉の一員として北ドイツを旅行して来ました。ブレーメンの北、北海に近い人口25,000人のファーレルとハンブルクの北、バルト海に近いハンザ同盟の街、リュubeckでそれぞれ1週間ホームステイをして来ました。各家庭では、日本と比べて品数が少なく質素な食事でしたが、住居は重厚で立派でした。ゲスト用のトイレ、バス付きのワンフロアを自由に使うことが出来ました。かつて凍土に覆われていた平地には畑が広がり、とうもろこしは燃料用とのこと。街中の住宅地には緑がふんだんに配置され落ち着いた雰囲気がありますが、びっしり詰まった路上駐車には驚かされます。幹線道路沿いには自転車道路が整備されています。旧東ドイツの一部を除いて電柱は見あたらず、景観はすっきりしています。



太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用も盛んで、風力発電のブレードの下では乳牛が牧草を食べています。環境先進国ドイツの一面を紹介しました。

国連気候変動枠組み条約締約国会議COP23が、ドイツのボンで開催。パリ協定をもとに議論が始まりましたが、今後の行方を注目して行きたいと思います。また、SDGsについても認知度を高め、広めて行きたいと思います。

## ◇ 第34回環境保全講習会の開催結果について

星野 弘志

平成29年10月29日(日)13:30~16:40、埼玉会館の4A会議室において、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、さいたま市の後援のもと「化学物質と私たちの暮らし 安全・安心へのアプローチ」をテーマに第34回環境保全講習会を開催しました。

私たちの暮らしは様々な化学物質によって支えられていると言っても過言ではありません。しかし、化学物質という名前だけで何となく不安になったり、その取扱いや使用方法を誤ると安全が脅かされることも事実です。そこで、工場などでの化学物質の管理・排出、化学物質による環境汚染、家庭での化学物質製品の使用などについて、どのように捉え、安全・安心に向けて、どのようにアプローチしていったらよいのか、専門家から化学物質の安全・安心を考える上での基礎的な知識を学んだうえで、パネリストと参加者が議論し、考えることといたしました。当日は、台風22号の影響で申し込みいただいても欠席された方もいらっしゃいましたが、それでも25名の方々に参加いただきました。



星野弘志副会長の司会・進行により開会し、まず基調講演として、環境省化学物質アドバイザーである江原仁氏から「化学物質の安全・安心、化学物質リスクの基礎知識」と題して、化学物質とは？ 化学物質関連法令、リスクの考え方、基準(ADI等)の考え方、安心と安全の違い、リスクコミュニケーションなどについて、わかりやすくご説明いただきました。

休憩後にパネル&フロアディスカッションに移りました。まず、埼玉県大気環境課化学物質担当である下畑未来主任からPRTR法の施行状況と化学物質を取り扱う工場における地域住民とのリスクコミュニケーションの実施状況についてプレゼンテーションがありました。

次いで、当協会化学物質検討委員会の一員である大熊幸雄会長から、環境汚染問題の事例として東京都の豊洲新市場の問題を取り上げ、環境影響評価制度の実施例と「安全・安心比較」について紹介がありました。

3番目に化学物質検討委員会のメンバーである小坂久仁子会員から家庭での化学物質による事故、課題、注意点等と検討委員会で作成した「家にある化学物質の使い方」について説明がありました。

フロアディスカッションでは、「埼玉県は化学物質対策に熱心に取り組んでいるのだから、もっとPRすべきである。」「農薬のリスクの問題をどう考えたらよいのか。」「情報の真偽を見極める必要があるというが、どのように行ったらいいのか。」など活発な質疑が行われました。

最後に進行役の星野副会長から、「情報」「リスク」「安全から安心へ」という3つのキーワードを取り上げ、情報提供・公開を進めること、リスク感覚を身に着けること、関係者間のコミュニケーションを進めることが重要であるとのまとめがあり、閉会しました。



## ◇ 環境研修会の開催結果の概要

星野 弘志

2017年8月4日(金)貸切バスによる毎年恒例の環境研修会を実施しました。今年は認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉と共催で環境ネットワーク埼玉の関係者の方々と一緒に群馬県上野村と埼玉県寄居町を訪れました。

御巣鷹山の航空機事故で知られる上野村は利根川水系の神流川の最上流部に位置しています。ここに東京電力の神流川揚水発電所があります。揚水発電所とは、電気使用量の少ない夜間の電力を使って下流の水をくみ上げ上流に貯めて、電力需要のピークとなる昼間に上流の水を下流に落として水力発電するものです。いわば大きな蓄電池のような役割をする施設です。

神流川揚水発電所では、長野県の南相木村を流れる信濃川水系南相木川の最上流部に上部調整池、上野村に下部調整池を設置しており、この間の有効落差653mを利用しています。肝心の発電所は上下流の調整池の中間地点、地表から約500mの地下に設けられています。別名を神流川ジオサイトというように、山の中に掘られた高さ51.4m×幅33.0m×長さ215.9mの巨大な地下空間所には、これまた巨大なポンプと発電機が設置されています。完成時の予定最大出力2,820MWは揚水発電所としては世界最大級を誇り、現在は2号機(940MW)までが運転中です。

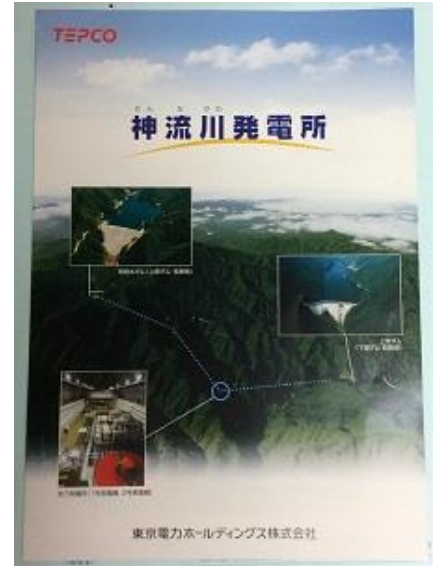
めったに入れない地下空間からトンネルを歩いて地上に戻った後は、道の駅「上野村」で名物のイノブタ丼に舌鼓を打ちました。その後、観光用に整備された長さ225mの上野スカイブリッジでスリリングに上野村の壮大な自然景観を味わいました。橋の途中に設置された自動シャボン玉機から飛び散る虹色のシャボン玉が山間に消える様子は御巣鷹の悲しみを象徴するようでした。

その後、群馬県から埼玉県秩父へと山道を抜け、寄居町にある株式会社サイサンが設置・運営するエネワンソーラーパーク寄居



を見学しました。ここは、埼玉県が運営する廃棄物処分場内で、埋め立て跡地約53,400㎡の敷地に、16,384枚の太陽光パネルを設置した2.6MWのメガソーラー施設です。太陽光パネルは、高温時の出力ロスが少なく、部分的な影の影響も少ない特徴を持ち大規模施設に適していると言われるCIS太陽電池を使っているようで、発電量は一般家庭約770世帯の年間電気使用量に相当する2,780MWhだそうです。

今回の研修会は、2つの再生可能エネルギー施設を見学しましたが、水や太陽など自然の力を利用するには、大規模な施設が必要であることを実感しました。再生可能エネルギーはさらに拡大していく必要がありますが、同時に省エネをさらに進め、自然への負荷を少しでも軽減していくことも重要であると感じたところです。結びに、事務局を担っていただいた環境ネットワーク埼玉さんに改めて感謝を表します。



## ◇ 平成29年度埼玉環境カウンセラー協会 通常総会の開催結果概要

特定非営利活動法人埼玉環境カウンセラー協会の通常総会は、平成29年5月20日（土）14：00～15：45、埼玉館5C会議室で開催されました。

概要は、次のとおりです。

- 1 開 会（司会）星野弘志副会長
- 2 挨拶 大熊幸雄会長
- 3 来賓挨拶  
埼玉県環境部環境政策課長 矢島 謙司 様  
あいさつ文は、次ページに掲載

### 4 議 事

以下の第1～6号議案は、全て承認、議決された。

- (1) 第1号議案 平成28年度事業報告（中村事務局長説明）
- (2) 第2号議案 平成28年度活動計算書（片倉会計）及び監査報告（宮崎監事）
- (3) 第3号議案 役員を選任（中村事務局長）
- (4) 第4号議案 平成29年度事業計画書案（中村事務局長）
- (5) 第5号議案 平成29年度活動予算書案（片倉会計）
- (6) 第6号議案 定款の変更（中村事務局長）

### 5 各委員会活動等からの報告

- (1) 化学物質検討委員会（中村副会長）
- (2) 環境教育推進委員会（金子理事）
- (3) 広報委員会（中村副会長、大熊会長）
- (4) ECU活動（大熊会長）
- (5) その他

### 6 講 演

「星の観察について」 内藤 定芳 氏



### 埼玉環境カウンセラー協会 役員名簿（平成29-30年度）

| 役職名 | 氏 名   | 住 所      | 摘 要      |
|-----|-------|----------|----------|
| 理 事 | 大熊 幸雄 | さいたま市浦和区 | 会 長      |
| 理 事 | 中村 章  | 富士見市     | 副会長、事務局長 |
| 理 事 | 星野 弘志 | さいたま市南区  | 副会長      |
| 理 事 | 堀中 新一 | 蓮田市      |          |
| 理 事 | 秋元 智子 | さいたま市大宮区 |          |
| 理 事 | 片倉 寛  | 久喜市      | 会 計      |
| 理 事 | 奥田 真司 | 春日部市     |          |
| 理 事 | 金子 玲司 | 坂戸市      |          |
| 理 事 | 角江 紘一 | 深谷市      |          |
| 監 事 | 宮 崎 誠 | 川越市      |          |
| 監 事 | 内藤 定芳 | 秩父市      |          |

◇ 通常総会 御来賓あいさつ

埼玉県環境部環境政策課長 矢島 謙司 様

- 埼玉県環境部環境政策課長の矢島でございます。  
本日は、埼玉環境カウンセラー協会の平成29年度通常総会にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。
- また、通常総会が盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。
- 埼玉環境カウンセラー協会におかれましては、創立20周年、NPO法人化から15周年、長年にわたり、会員の皆様の専門的知識や豊富な経験を活かし、個人や企業の方々の様々な環境保全活動を支援して来られました。
- 化学物質に関する啓発活動から自然環境保全、環境教育人材の育成まで、幅広い分野に渡って、本県の環境問題の改善に多大な貢献をいただいております。
- 大熊会長をはじめ貴協会の皆さまに、この場をお借りいたしまして、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。
- さて、本県の人口も729万人を超え、個人の生活や企業の事業活動が拡大する中、大気汚染や水質汚濁など、取り組むべきさまざまな環境問題が生じております。
- 加えて、地球温暖化やエネルギー問題、廃棄物対策など、近年の環境問題は極めて複雑で多様化しております。
- これらの環境問題の解決には、個人、企業、行政などあらゆる主体が、自らの活動が環境に与える影響を意識し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を実践していく必要があります。
- 県といたしましても、環境問題の解決のため、様々な施策を推進しておりますが、今日の環境問題の解決には、行政のみならず、個人、事業者、民間団体の方々と協働して環境保全対策に取り組むことが極めて重要でございます。
- 貴協会には今後とも、環境に関するスペシャリストとして、豊かな地域環境とより良い地球環境の実現に向けて、一層の御尽力を賜りますよう心から御期待申し上げます。
- 最後に、貴協会の一層の御発展と御参会の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

## ◇ 2017年度埼玉県環境科学国際センターでの「県民実験教室」活動報告

環境教育推進委員 金子 玲司

9月24日（日）に埼玉県環境科学国際センター（加須市：以下CESS）の県民実験室において、「身近なものの中の化学物質を調べてみよう」というタイトルで実験教室を実施しました。このタイトルでの実験教室はCESSが開所以来10回以上実施してきた実績のあるもので、これまでに多くの方に受講していただいています。

今回は10世帯25名で、実験体験者14名、同伴者11名という参加者構成で講座を行うことが出来ました。主に小学生中学年から高学年までの実験体験者が多いというのもこの講座の特徴です。しかし、実際は同伴の親御さんが子どもを出汁に来ていたり、子どもより実験に一生懸命な様子が見受けられ何とも微笑ましい。家族で実験教室のテーマを家に持ち帰ってもらえることは講座を進める講師としては嬉しい限りです。

本実験教室の狙いは、「1.化学物質＝危険ではないことを正しく理解する。2.化学物質は安全に使うことが重要であることを理解すること。3.化学物質は各種の法律で健康や生活の安全が守られていることを知る。」です。

実験は、食品中の合成タール系色素の抽出、食品中の亜硝酸紺の抽出と簡易測定キットによる定量、化成品中のホルムアルデヒドの抽出と簡易測定キットによる定量の3つを実施。その流れに沿って個々の物質の法規も含めた解説を行うという結構なボリュームのある講座です。

4つの実験台へのティーチングアシスタントの配置によって、実験の安全、実験手順の逸脱防止や試薬等の使用方法をアシストしてもらい、チームティーチング形式を取っています。これにより、2時間の講座の中で、小学生中学生に高度な実験全てを円滑に終了させ、まとめと解説を行うことができます。

アンケートを講座終了後に、受講された方をお願いしていますが、講座の狙いを理解していただいているかを確認する機会となっています。更に子どもたちの屈託のない率直な感想は大変ありがたいものです。大概、逸脱した回答は少なく、「理解していただいたのかなあ」と一寸胸を撫で下ろします。子ども達からの「実験が楽しかった」という言葉は10数回を経ても、いつも嬉しいものです。

今回のSECA環境保全講習会は「化学物質と私たちの暮らし」であり、本講座テーマと同様の内容でした。ダイオキシン、環境ホルモン、農薬、SVHC、RoHS、REACH、POPsなどなど、化学物質を取り巻く話題は絶えることがありません。この講座からより良い化学物質と私たちの関係を築く未来の科学者が生まれたら、とても素晴らしいと思う今日この頃です。



「県民実験教室」  
の様子

## ◇くまがやエコライフフェア2017に参加しました。

角江 紘一

5月20日（土）、21日（日）の2日間に亘り、熊谷市内において開催されました。「市民の環境への興味関心を引き出す」とのスローガンの下に、熊谷市だけにしか棲息が確認されておらず、絶滅危惧種ともなっている魚「ムサシトミヨ」の保護をテーマに開催されました。

協会は、県北会員の力を結集し、2006年から毎年参加しており、協会の活動内容の紹介、エネルギーに関連した体験型の学習に加え、身近な環境テーマを採りあげたパネル展示を展開しております。

今回は・・・

- ① ムサシトミヨ保護に因み「生息地である元荒川の水質とその保全」
- ② 地球温暖化防止に因み「LEDランプを採用することによる省エネ効果」
- ③ 化学物質検討委員会発行の冊子、家にある化学物質の使い方「虫よけ剤」  
・・・を採りあげました。

主催者の熊谷市とは、実行委員会参加以外にも数回打ち合わせをもちましたが、要請あり・・・

- ④ 「ムサシトミヨの折り紙」をも展開しました。

展示内容については、毎年、協会メンバーによる反省と企画を繰り返して、年々、質的な向上を図ってきております。今回は、「難しい説明は避け、驚き、楽しさを以て、『気づき』を与えるもの」にするよう留意し、来場者に理解しやすく編集した内容で展開することができました。簡素でインパクトのあるパネルにすべく心掛け、詳しい説明は、持ち帰り資料にしたためる。また、押し釘で展示個所を誘導する、など工夫を凝らしました。

エネルギーの基本を説く体験型の学習会は、客数も多く、毎年展開しておりますが、小学生を対象としていながら、親の関心も得、新たな「気づき」をも促してもおります。また、化学物質の使い方「虫よけ剤」のコーナーに見入っていた方がおられ、そしてLEDのコーナーでは多くの質問をいただきました。

しかし！・・・いろいろ反省すべき点もあります。市としては、来場者の減少傾向に歯止めをかけるべく、集客重点の展開を図り、また、SECAにとっても、他団体の催しに押されぎみです。市、SECAとも、目的は、環境意識啓発にあります。見直す必要を感じます。イベントはお祭りであっていいのですが、その場を通して目的を果たさねばなりません。市とも協議を重ね、よりよいイベントにしていきたいと考えています。



## ◇ 情報交差点

○ さいたま市環境フォーラムに参加しました。  
平成29年10月6・7日



○ 富士見ふるさと祭りに参加しました。  
平成29年10月28日(土)  
富士見市役所職員駐車場



○ 会員の丸岡巧美さんが経済産業大臣賞を受賞しました。【平成29年8月1日】



○ 化学物質検討委員会では、「家にある化学物質の使い方」の第1号から7号までの総集編を取りまとめています。

## ◇ ECUの活動情報

- ・平成29年度通常総会；平成29年6月23日(金) エッサン神田ホール
- ・第7回環境カウンセラー全国交流会 平成29年9月23, 24日 札幌市
- ・関東地区環境カウンセラー協研修 平成29年10月23日
- ・佐々木理事長等が中川環境大臣と面談 平成29年10月31日
- ・化学物質リスクアセスメント初級研修 平成29年11月27日 埼玉会館
- ・平成30年度通常総会；平成30年6月22日(金)  
ホームページ <http://www.minnanoecu.com/>

## ◇ SECA情報

平成30年度通常総会の開催を、予定しています。  
期 日；平成30年5月26日(土) 13時30分～16時  
会 場；埼玉会館 5B

## ◇ 編集後記

中村 章

環境カウンセラーの皆様の参加、SECAとしての環境展示が増えて参りました。また会員の皆様が活動する場も増え始めました。但し展示の内容は音を出すとか、動きのある方が好まれる傾向にあります。

協会員皆様の活動に対する御意見、掲載をお待ちしております。